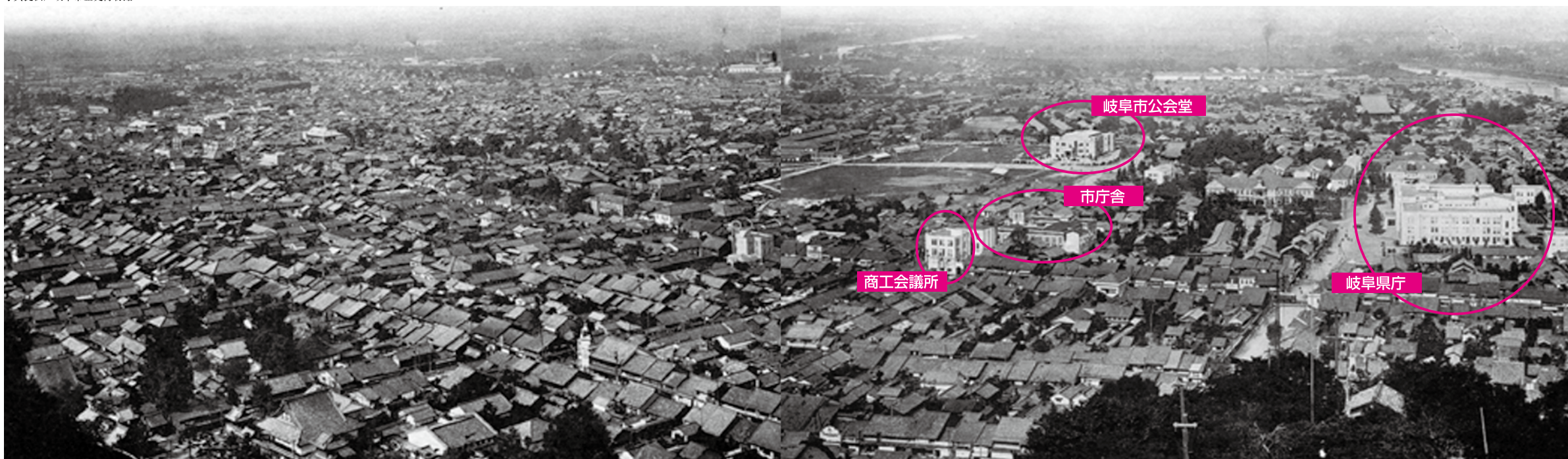


写真提供／岐阜市歴史博物館



燦然たる隆運を形成する岐阜市の大観

右端近くの大きな建物は、大正13年新築の県庁で、中央近くのビルは商工会議所、その隣は市庁舎である。市庁舎の右上にあるのは昭和3年新築の岐阜市公会堂。柳ヶ瀬にまだ丸物がないことから、昭和3年から5年までの間に写されたもの。



現在の岐阜市大観

このような「岐阜のまち」と関わる事業を進めるなかで、今回、このまちの姿の変遷を改めて今昔対比写真を通して紹介することで、これからのまちづくりへの様々な思いを各々に描いていただければと考えています。

当所では、近隣商工会議所・商工会や各経済団体、行政と連携して、市町村の垣根を越えた広域的な視点をもって、都市のグランドデザインや土地利用計画の策定などまちづくりの推進に参画し、『地域に貢献する商工会議所』の実現に向けてさまざまな事業を支援しています。

そのなかで、岐阜市中心市街地の活性化に向けた取り組みとしてイベントの充実や商店街の魅力発信を支援し、魅力あるまちづくりを推進しています。また、伝統的町並み景観の活用にも傾注し、川原町界隈の魅力をもっとよく活動強化しています。

岐阜市の 変遷